

第7期第4回 豊栄地区公民館運営審議会 会議録

日時： 令和3年2月17日（水） 午前10時～正午
会場： 豊栄地区公民館 大講堂
参加者： 豊栄地区公民館運営審議会委員 東委員、石川委員、岩井委員、北村委員
日下委員（副議長）、倉島委員、土田委員
藤沢委員、マルシェフ委員、村山委員（議長）
豊栄地区公民館 拝野（館長）、立川（主任）、佐藤、小池
北地区公民館 塚田（館長）、風間
傍聴人： 0名

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議 事

（1）令和2年度事業経過報告について

（事務局）令和2年度 豊栄地区公民館事業経過報告

（村山議長）ただ今の説明について、ご意見、ご質問などありますでしょうか。

（石川委員）今年は、コロナ対策でかなりご苦労されたと思いますが、対策を取ったら結構よかったというか、むしろこういう方法があったなど、新しい気づきや、こういう方向性で行った方が結構よい知見が得られたことがあったかどうかということが一つと、もう一つは、子育て関係でもかなり悩みを抱えた方がおられたと思いますが、そういう悩みや不安が出て、他の課へ照会をかけた、アドバイスをする場面があったかどうか教えて欲しいと思います。

（拝野館長）まず一点目のコロナ対策から新しい知見が生まれたかどうかですけど、今回コロナによって、東京の方で緊急事態宣言が出され、急遽講師が新潟に来られないという事態になりました。別の講師を探そうとしたのですが、その時にインターネットを使って、東京の講師とこちらの会場を結べるということで、ZOOMというソフトを使って行いました。講師の時間節約になるし、感染拡大も恐れがその分低減されることにもなりますので、これは新しい対策だと思っています。また、公民館の方も講師の旅費の削減にもつながったと思います。コロナ禍にあって初めて取り組みましたけど、効果的な講座のやり方だったと思いました。それから、いろいろな団体に、部屋を利用した後に消毒をお願いしております。今までは簡単な清掃程度をお願いしていたんですけど、使った団体は、自分たちが使った机や椅子の背もたれなど、手で触れた部分を消毒してもらったりと、施設をキレイに保つという意識が、利用者の方にも出てきたのではないかと思います。これを習慣づけていくこ

とによって、新しい公民館もキレイに使っていただけていると思っています。
2点目の子育ての悩みをどこか別のところに照会するという事例ですけど、講座に参加した方には、いろいろな面でアドバイスをしております。そして講座の中ではあるのですが、先輩の子育て経験者と会ったりするような機会を設けておりますので、そういうところで、悩みを伝えていただくと少し安心されたとか、そういうような点で人と人をつなぐ工夫をしていました。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(岩井委員) このコロナ禍の大変な中、これだけの事業を計画して、代替えの事業も考えられた公民館の方には、ご苦労なさっただろうなと思います。資料も拝見させていただいてもよくわかり、ありがたいと思います。あくまでもこれはこうなったらいいなというもので私の要望です。たくさんの講座がある中で、その講座が終わった時点で、完結してしまう講座。それから講座が終わった後に、講座を受けた方々が講座を受けたことによってどのように変わっていったか。どんなふう生き方が変わっていったんだろうと、その後の様子を知りたいなと思う講座も中にはございます。例えば、6ページの「女性セミナー」は、今時の話題のような気がしますけども、例えば第1回目、「妻の言い分・夫の言い訳」これを受けた女性の方が、1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月と経つ中で、受ける前と、どんなふうにご自分の中で変わられていったか。それを永遠に追うことは公民館の仕事と違うとは思いますが、今の講座は1週間毎に講座を開催してますけど、4回目に行く前に、例えば3回目終わった時点で、講座を受けられている方に宿題と申しますか、自分の日々生活する中で、少し変わったことがあったのかどうか、そんなことを頭の中で少しまとめていただいて、3週間、短くても1週間、長ければ1ヶ月位、4回目まで少し時間を取っていただいて、自分の経験などを、どんな風に変ったのかを他の皆さんにお伝えできるような情報が4回目に話し合っただけいたら、もっと有意義になるのだろうなと思います。参加者をもう少し増やすということを考えれば、こういう講座をやっているんだなということで、集まっていたきたい女性の方々にもアピールすることになると思います。どうして自分は参加しなかったのだろう。例えば去年この講座をやって、受けた人はこんな風に変えることができたということが、講座を受けなかった方にもし伝えられることができれば、もっとこの講座の参加者は増えるかもしれないし、有意義なことがたくさん公民館にあるような気がいたしております。

(村山議長) ありがとうございます。事務局の方お願いいたします。

(拝野館長) 今、岩井委員が言われたのは、情報の共有や学びの輪の広がりにつなげていくこととなりますので、我々もそういうところは大切にしていきたいと思っております。当然それぞれの回で、参加者同士、今回は一方的な講座形式が中心

となったのですが、お互いの学んだこと、気づいたことを共有するようなグループワークを取り入れてやっています。それから、それぞれの講座の中で、感想とかアンケートを書いていただいて、それを事務局の我々も見ることでもありますけど、やっぱり講座を受けて、今まで自分が気づかなかったこと、これが社会の常識じゃないこと、違っていたこと、そういった気づきを皆さんアンケートや感想に書いていただいています。そうすると、講座を受けていない事務局側の私も、こういった講座だったんだ、こういった学びがあるんだということで、その感想からでもその講座の内容がわかる。こういった感動など、人生の変容というのでしょうか、そういうものがあるのだと逆にこちらの方が感動したりすることがありますので、そういう情報を他の人にも発信できるような工夫を考えていきたいと思います。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(北村委員) 岩井委員や事務局のお話を聞いて、地域コミュニティの活動の中の「健康は笑いから」とか「写真で見る北区の水害」と色々ございますけど、こういうものは、皆さんの方で考えられるのでしょうか。それとも一つですが、先程子育てのところで、先輩の話も聞くと。私からすると、高齢者になってしまうと先輩どころではなくて、おばあちゃんの立場から接していることが多いので、先輩というのは、ずっと若い先輩のことを言っているのか教えていただきたい。

(拝野館長) どうもありがとうございます。「ご近所だんぎ」につきましては、ご近所だんぎをサポートしてくれる「あなたとあい隊」という北区の公民館運営に携わるサポートチームと公民館スタッフで、次どういった講座をしましょうかということで企画をして講師を選定しております。それでやはり地域で活躍されている方を地域の人に知ってもらいたいということがあるので、講師の方は大体地元出身の方になります。「笑いは健康から」の緑元多吉さんも地元の方ですし、「写真で見る北区の水害」は地元の博物館の職員が一番地域の歴史に詳しいので、それを語っていただきました。また「押し花でうちわをアート」の更科さんも地元の方です。ですから、なるべく新潟市や北区の地域の方にお願ひし、学びを広げていく目的でサポート団体と協力して作ることがこの企画の趣旨です。それから子育ての先輩については、直近でお子さんを産んで子育てをされている、乳幼児家庭教育学級で勉強された方など、年齢層が近い方など、つい最近体験した方に悩みなどを語っていただいています。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(土田委員) 先程 Facebook についてご説明いただきましたが、すごくわかりやすく、とても丁寧に書かれていてありがとうございます。私は、子どもが高校生と中学生になったのですが、子育てに関わることで「わらべ歌」などもさせていただいています。児童センターにも行ったことあるのですが、そこの「わらべ歌」をやってみましょうとなった時に、1組の方が来られた方がいらっしゃって、一緒にやりましょうとおやこの遊びをしていたのですが、その後で最近どうですかという感じの話をさせていただいたら、コロナの関係もあり、自分と同じ世代のお母さんとか、自分と同じ子どもを持っている方との接点がなくなってきていることをおっしゃってまして、3歳くらいの子ども持つ方だったのですが、健診とかもなくなってしまい、この子が3番目の子どもであったのだけれども、本当にこの子がちゃんと育っているのか、すごく心配だとおっしゃっていました。不安になることもあるのかと、私も心配になっていまして、当事者のお母さんたちは情報が欲しいこともありますし、自分も子育てが合っているのか、大丈夫と言ってくれる周りの人がいれば安心するのだと思うのですが、見た感じでは、不安を感じさせることは感じないのですが、そういう場が欲しいとおっしゃっていました。コロナ禍で講座が中止になっていますが、考えていただいて代替えなどで開催していただいているのはありがたいなと思いました。ゆりかご学級や女性セミナーのジェンダーのことだったり、いろいろな世代で知識として触れるものがあるというのはありがたいことで、それぞれの世代で飛びつくキャッチな言葉、「ネットで調べるより身につく 20代30代のためになる講座」とか、題を合わせてくれることが見ていて楽しいなと思いました。私は参加できていないのですが、ここからジェンダーのことだったり調べさせていただいたり、単語で知らない言葉を私自身もこちらで見ても勉強させていただいて、なるほどと思ったり、そのことを会った人に伝えることができたりすることができると思いました。もしでしたら Facebook にプラスで受講された方を匿名で感想だけでも載せていただいたり、その後皆さんいかがですかとコメント欄に書ければ、広がっていくこともできるのかなと今回のお話を聞いて思いました。その場で終わることも勿体ないことだし、大事な企画で色々な方が関わっていることなので、誰かがどこかで見ていただけたら、そこから広がるものが出来て、それを見た人がまた誰かに広げていくと、世の中何か丸くなるのかなと今回のお話を聞いて思いました。ですからもしでしたらそういう形を取られるとありがたいのかなと思います。

(拝野館長) 大変貴重な意見、毎回色々な提案をいただきましてありがとうございます。まず子育てですが、今お母さんと子どもの1対1の関係になっていきますけど、本来であれば、子どもは社会で育てることが正しいのかなと思っています。ですから、子育て期の方はコミュニケーションの場を求めているというふうに我々も感じています。昨年度一番最後のゆりかご学級の受講者たちは、一番最後の回に交流会をやるのですがそれも出来なかったですね。それで

結局、講座だけ聞いて、最後にみんなで集まって文集・アルバム作りをして仲を深めることや、その後のつながり続けていくきっかけを作ることができなかった。そのため今年度これからになるのですけども、ZOOMを使って同級会をこれからやろうかなと考えています。その後も皆さんつながりを求めているでしょうし、同じくらいの子どもを持った人たちは、他の子どもの成長も見たい、知りたい。そして自分の子どももどんな風に成長しているのか、比較するわけではないでしょうけど、確認したいという気持ちがあると思うので、そういった同級会を開いてフォローしていこうと思っています。皆さんからいただいた提案については、他の講座でもできることですし、Facebookで許可をいただいた受講者の感想を載せることも可能だと思いますので、これから工夫していきたいと思っています。どうもありがとうございました。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(日下委員) 女性セミナーについてお聞きしたいことがあるのですけども、昨年度は夜に開催していたのを、今年度は昼間に変更して行ったと記載してあったのですけど、コロナ禍の中であっても、参加者は昨年並みということで、参加された方にちょっとした違いがあったのかどうかを教えていただきたいのと、報告書の方にはなかったように思うのですけど、裏の表のところにある「女性セミナーⅡ」は昨年度の女性セミナーのフォローアップとして実施とありますけど、この参加された8名の方は昨年度参加された18名の方の中の8名という理解でよろしいのか、それと昨年の夜間の講座に参加されていたと思うのですが、その方が午前の講座に参加されていたのは、どんな感じだったのか、お聞かせいただければと思います。

(拝野館長) ありがとうございます。女性セミナーの参加者の年齢構成だとかいう分析については、今回経過報告ということで参加者の前年度対比については、細かく分析しておりませんでした。これについては、次回の公民館運営審議会の事業報告の中で説明させていただこうと思います。それと表形式になっているところで、昨年度のいくつかある講座で、ひとつノルディックウォークの受講があったのですけど、その参加した人たちがまたやりたいねということで参加していただいています。ですから全体の参加者のうちの一部が引き続き参加いただいたという形になっています。

(村山議長) ありがとうございます。よろしいでしょうか。

(マルシェ委員) 先程のゆりかご学級のことで、つながってらっしゃることが素敵だなと思いました。私も自分の子どもが小さかったときは「ゆりかご学級」に参加して、同じ子どもの年齢が近いお母さんたちと知り合うきっかけが出来て、その後も保育園や小学校になって会えなくなった方もおられるのですが、

それでも大きくなったとか、大きくなってからもあの時のお友達がすごく心の支えになっていたなと思い出して良かったなと思っています。だからそういうきっかけが出来て、お母さんたちが実際コロナで会えないこともあると思うのですが、つながりができることはとても素晴らしいことだと思いますしありがたいです。あと Facebook のスノーキャンドルの作り方についても、写真があって、わかりやすくて、やってみようかなという気持ちになると思います。太夫浜地区には、近くに公民館などはないので、小学校のふれあいスクールなどの工作に取り入れたいと思いました。どうもありがとうございました。

(拝野館長) どうもありがとうございます。先程も申し上げましたが、やはりお母さん方がコミュニケーションの場を常に求めていて、しばらく離れていてもどこかで会うと「あの時の子どもがこんな風に成長したよ」とすぐに昔の戻るといふか、仲良くなっていただけだと思いますので、そういうきっかけづくりを大切にしていきたいと思っています。あとそれから工作の方、あのくらいの知恵しかないので、他の公民館でやった工作の活動なども活用していただければと思います。我々もこれから蓄積していきたいと思っています。ありがとうございました。

(村山議長) ありがとうございます。非常にたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。6名の方からいろいろなご意見やご提言がありました。これに対しての対応についても公民館の方からお答えいただきましたので、新年度に向けて頑張りたいと思います。続きまして北地区公民館の方の説明をお願いします。

(事務局) 令和元年度 北地区公民館事業実施結果を報告

(村山議長) 只今の北地区公民館の説明に対して、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

(北村委員) 個人的な質問なのですが、実家の方に杉が植わってまして、ちょっと小枝なんかを切ってみたりするのですが、先程の「箸づくり」のところで、越後杉を使って、輪切りの部分からカンナをかけて製作するのですか。

(塚田館長) 今回「箸」を作ろうということで行ったのですが、材料としては、杉の間伐材を講師の方にご用意していただいて、それをカンナで削って、箸の形に成型しました。おそらく間伐材といっても、当然乾燥とかが必要ですので、例えばその辺にあった木をそのまま切ってきて、そのまま削って箸をつくるわけにはいかないのではないかと思います。今回はあくまでも間伐材を乾燥させてあるもの、講師曰くその辺のホームセンターに行けば十分に手に入る

という話でした。

(北村委員) 杉が再利用できるかと思い聞きました。

(塚田館長) 今回私どもが企画したものは、先程申し上げた材料を使わせていただきました。

(北村委員) それと以前から「有情のまちめぐり」に参加したいと思っていたのですが、なるべく新年度は参加させていただきたいと思っています。

(風間主査) 例年、北村委員さんから参加のご要望いただいておりますので、区だより等で告知したら申込みいただきたいと思います。

(村山議長) 他にありませんか。

(東委員) どちらにもお聞きしたのですが、広報の仕方は、区だよりというお話でした。私は学校にいますが、区だよりを見る機会が少ない。チラシ等は小学校はあると思うのですが、中学校はほとんど見る機会がない。どのように広報しているのか気になっていて、学校への依頼とか、コーディネーターを通してでもいいのですがそのような依頼があるのかどうか。また、土日は、中学生はスポーツをやっていたり、習い事をやっていたりするのですが、逆にまったくやっていない子もいたりして、その辺りの開拓もすればいいと思っています。そのことで青少年の健全育成にもつながるし、色々なことを学べると思っているので、その辺りを教えていただければと思います。

(塚田館長) 北地区公民館では、区だよりを通して、隔週の日曜日に市報にいがたと共に届いていると思うのですが、その他に北地区ですと、地域で「かわら版」を作ってもらっている方がいるものから、そこをお願いしている。募集とかを定期的をお願いしている形が一つあります。あとは当然ホームページ、それからチラシを作って、色々なところに置いてもらうとかしております。今回のゆりかごとかの子どもさん相手のものについては、小児科の先生にお願いして、窓口に入れてもらうとか、その目的等によって置く場所を変えています。子どもさん相手であれば、それぞれの小学校に送って、子どもたちに持って帰ってもらうよう学校の方へお願いするとか、ターゲットによってどこに置いたらよいか、少しずつ変えながらやっております。

(村山議長) 広報に関しては、豊栄地区公民館の方にもあると思いますので、先程もPR不足であるとか、色々とお話があったと思います。今回公民館まつりのお知らせをコミュニティだよりの方に載せてあったのを拝見して、これも良い方法だなと思ったりもしたのですが、その辺豊栄地区公民館はどうでし

ようか。

(拝野館長) 先程、塚田館長から説明があった通り、豊栄地区公民館も区役所だより、チラシ、学校宛にもチラシの配布の依頼をすることがあります。子どもの体験活動事業の対象が小学校6年生までということで、中学校さんへチラシがいないというのが実情です。小学校に配る際は、学年毎の児童数をクラス毎に分けて学校へ送っているところです。そんな形で小学校の方には周知しております。それから、先程 Facebook の話もしましたが、ネットを通じてやっているのは、公民館の公式ホームページと Facebook のふたつです。そして、村山議長の方からも説明がありましたが、豊栄地区は五つのコミュニティセンターがありまして、それぞれが毎月コミュニティセンターだよりを出しております。そちらの方に色々な催しや展示の情報について、掲載依頼をして、但し紙面の都合があるので、全てをコミュニティセンターだよりに載せてくれるわけでもないの、紙面が空いているときは載せていただいているというのが実情です。それから、今回公民館の移転にあたって、フリーペーパーの新発田を中心に 55,000 部発行されている「まるごと下越！」さんの方に今回の移転について、特集で載せていただきました。あとは雑誌等に色々掲載依頼をすることもあります。Kommachi、Week やにいがた情報などにもお願いすることもあります。ただ、紙面の都合上必ず載るわけではなく、タイミングよく載ることもありますし、載せられませんでしたということもありますので、効果的な広報をするにはどうしたらよいか頭を悩ませているところです。ただ近年、スマホを使う人が多くなってきているので、これからネットを中心に Facebook とか、ただ Facebook の利用者も高齢化していることもあるので、今後はインスタグラムや動画配信系の色々なものも考えていく必要があるなど、問題意識としては持っています。

(村山議長) ありがとうございます。他にありませんか。

(日下委員) 今の広報ところに関連してなんですけど、ホームページを拝見させていただいたところ、「ゆりかご学級」が中止になりました。色々な事業がある中でスクロールして見ていった時に、今回中止になったけれども代替で「初めての子育て応援セミナー」の代替事業をやったということなんですけど、見ている立場でいった時に、自分の産まれた子どもが対象の「ゆりかご学級」が中止になりましたというところだけで、別にスクロールすると下に応援セミナーが出てくる。応援セミナーところには、ゆりかごの代替であるという言葉はないので、気づけるのかなというところが疑問に思いました。もしできれば、「ゆりかご学級」中止になりましたのところに代替があるよということに気づける記載があると、もしかすると引っかけって参加しようとする方が拾えるのかなと思いました。あともう1点、北地区公民館の幼児期家庭教育学級のことなんですけど、それぞれ色々な対象の方にそれぞれの講座を

企画していただいて大変ありがたいなと見させていただいたのですが、おそらく講座の内容を十分に考えたうえで、この募集なのですが、パパ・ママ・子どもの限定にするより、例えばママとおばあちゃん、ママとおじいちゃんなど、多様な家族の在り方にも対応できるような募集が出来れば、さらに対象になる方が増える。幼児期のお子さんをお持ちの家庭に関しても、対象の方を限定せず、もうちょっと広げるといいのかなと思いました。

(押野館長) ありがとうございます。はじめての子育て応援セミナーですが、中止された「ゆりかご学級」の代わりに行った事業ですけど、わかりづらい表記だったかもしれませんので、関連付けてわかるように改善していきたいと思いません。ありがとうございます。

(塚田館長) 幼児期家庭教育学級の対象がどうかなというご指摘ですけど、今回企画するときに職員に、最近はシングルマザーと言われていたりしゃるといって、お父さんとお母さんというのは、どうなのという意見も確かにございました。ただ、一般的に子育てはご夫婦でやるというのが考えられている部分なので、お父さんも一緒に子育てができる、あるいはそういった仕掛けといいますか、きっかけとなるようなことをやりやいということが一つあったので、かと言ってお父さん対象の何かをやるというと、なかなか人が集まらないという部分があって、その中でお父さんとお母さんに一緒に来てもらって子どもさんも一緒にやって、それぞれ交代しながら学んでいただく企画をさせていただいた。委員がおっしゃるようにおじいちゃん、おばあちゃんとかそういった方を含めてということもあると思うので、今後の検討中で同じように企画があるのであれば、少し対象の仕方、あるいは事業の中身を考えていきたいと思いません。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(岩井委員) 幼児期家庭教育学級の話が出たのですが、私はお父さんとお母さん両方とお子さんの参加ということで、8組の方が参加されたということで、この時点で半分成功したんじゃないかなと思いません。できればこの先もパパのママとお子さんと一緒にするこの形はいいなという風に思いません。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(東委員) 先程の広報の件で、豊栄地区は中学校にはチラシを配っていないということですが、北地区の方は、今回は中止になりましたが、松浜中学校の生徒が中学生ガイドをやっているということで、中学生が地域貢献出来たらいいなと常日頃思っているので、素晴らしい企画だなと思っています。このあたりの立ち上げの様子とか、中学校側から提案があったのか、それとも公民館から

提案したのか、その辺りを教えていただきたいと思います。

(風間主査) 成り立ちの部分がはっきり今説明できません。あとでご報告したいと思います。もともと松浜地域は、戊辰戦争の時に西郷隆盛が滞在していたのではないかとかというお話とか、歴史に関わるお話が多い地域で、いくつか史跡がありまして、歴史に詳しい方もいらっしゃるしまして、その方が当時松浜中学校の方と中学生と一緒にガイドするきっかけになりまして、6月から9月まで実際に現場に行き、中学生は部活動や定期テストがあるので非常に忙しいわけですが、9回位かけて行い、その成果を10月に一般の方を募集してガイドするような形を取っています。2時間くらい松浜をまち歩きして、ポイント・ポイントを松浜市場ならこの子、西郷隆盛の話をするのはこの子という風に担当を決めてやっています。例年だと14～15名が参加してやっておりますが、ただ今回は中学校側から今回の養成講座は難しいということで、今年度は中止になりました。教える方も公民館活動協力員の方で、新潟市北地区歴史文化研究会というサークルさんであるのですが、その方を講師にして9回お話をしてもらい、子どもたちに覚えていただく内容で例年であればやっております。中学生は時間が取れるのは限られるので、中学校側と話し合いながら次年度進めていきたいと思います。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(藤沢委員) 今ほど皆様のご意見の一つ一つに共感しながら聞かせていただきました。このような状況下で、多くの年代の方々を対象に多彩な企画を運営実施されている公民館民の皆様にも敬意を表したいと思います。感想でございますが、2～3点ございます。幼児期家庭教育学級の北地区の活動について、パパが対象になったのは今回初めてでしたでしょうか。

(風間主査) 以前、3年前くらいでしょうか。夫婦でいう企画を一度、同じ担当者がやったことがありますけど、2～3年振りくらいに、今回コロナで保育もできないことから、子ども面倒を夫婦でみてもらえれば、保育も受けながらも受講ができるのではということで工夫して企画しました。

(藤沢委員) 大変すばらしい企画力だと思います。あるものをみんな使うというのは、良いことだと思います。このことで、お母さんはお母さんでというところがとても大事で、小さいお子さんがいらっしゃるとお母さんの育児負担が大きく、そこから離れることはないで、こういった形でお母さんだけ、別の人格として扱ってもらえる機会というのは、実はとても大事なことじゃないかなと思っております。共同なのだけでも分けてやるという運営は大変素晴らしいことだと思いますし、ご指摘のありました多様な家族の在り方がありますので、小さいお子さんがいるご家族と、パパ・ママに限定しないという

ありかたも今後ご検討いただけると大変いいのではないかなと思いました。おばあさん、おじいさん世代は、子育てにサポートするご家庭もたくさんあると思いますが、実は昔の子育てと今では、だいぶやり方とかも変わってきている。若い方の感覚と年配の方の交流というのなかなかないので、柔軟にやっていただくのが公民館の良さかなと思いました。大変素晴らしい企画だと思って感心しました。それから高齢者の関係で、豊栄の方ですが、「アクティブシニア」の講座で50代、60代を対象に設定されたということで、おそらくは定年前の第2の人生を考えるきっかけにということで対象にしたと思いますが、それこそ今人生100年時代ですので、70代位まで現役の方がいることから、特に50代、60代を限定と書かなくても思ったりしました。私も60代ですけど、シニアの中ではまだ若造と言われております。公民館の自主的な企画なのですが、公民館を拠点として活動をなさっている様々なサークル・団体の方々は、それこそアクティブシニアの方が結構大勢いるのかなと思ったところです。最後なんですけど、本学のことで、本日の報告にもありましたが、コロナの関係で、学生の登校が制限されています。今もそうですし、次年度も恐らくそうなります。一部対面授業も取り入れ始めているのですが、少人数の実習等の授業のみで、大半の授業はリモートなんです。ZOOMとか、本学ではTeamsというものを使っているんですけど、1年間学生と1度も会わずに授業を遠隔でやったものが多数あります。そこで気づいたことがもしご参考になればということですが、1回ある程度顔合わせをして、人間関係が出来ている方は、フォローアップをZOOMで交流するというは大変いいことだと思います。ある程度お互いに対面で関係が出来ている人が、時間や場所の制約をなしにお互いに話し合うということでは、ZOOMはスマホがあれば誰でも参加できますし、そんな設備もいらなし、wifi環境が整っているという条件があるんですけど、そこで「ああ久しぶり」と交流することには、お互いの話し合いなどもスムーズに行くので大変有効だと思います。ですからそういったものをご活用されてもいいのかなと思うことと、講義形式の講座であれば、録画という形で、その時間帯に来られない方にも限定で見ただけすることも今簡単にできますので、実は授業もそうです。何日の何時間目にテレビ授業やるよということで一緒にやるのもあるのですが、学生も色々な環境でインターネット環境が十分でない方とか、あと授業中に通信が途絶えることが結構あって、そういうこともあるものですから、1週間～2週間録画して、それを決まった時間で見れば、出席にするということもやったのですね。リモートだけでやる時に一番大事なことは、フィードバックがあることです。話しっぱなしではなくて、その場でテレビ画面でやり取りできれば良いのですが、それが出来ない場合も何か感想などを送った時に、それにお答えが返ってくる。或いはお互いに共有できるということがあるとすごく双方向で一体感があるので、企画のところで取り入れられてもいいじゃないかと思ったところです。それとPRのところ、たぶんアンケートは取られていると思いますが、どうい

う媒体で知ったとか、もっとうこういうところに出して欲しいというようなことも、催しのところで確認されてみると、皆さんが求めているもの今の講座のマッチングが良いかどうか、ちょっと検証できるのかなと思ったところです。来年度コロナが少し落ち着いて、本学の学生もボランティア精神の気持ちはあるのですが、そもそも学校に来てはならぬということで、県外へ行った教職員も学生も2週間自宅待機で登校禁止と厳しい体制を取っていることから、参加しづらいということがあったので、これからいい方向に向かうといいなと思いました。ありがとうございました。

(村山議長) ありがとうございます。事務局は何かありますか。

(拝野館長) 大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。遠隔、リモートの関係については、我々も十分に使いこなせていませんけど、双方向性というのを活かしながら、一方的に垂れ流しではなく、やはり聞いている人の反応がわかる、どう思っているか講師の方にも伝わるという工夫してきたいと思っています。あとPRの方についても、色々な講座で「何でこの講座を知りましたか」ということは聞いているのですが、だいたいそうすると、市報とか区役所だよりもメインになっているんですね。ですから我々もそこをメインに出しているのですが、たぶんそれを見ていない人には届いていないと思いますので、もう少し視点を広げながら工夫していきたくと思っています。あと北地区の方で、お父さんやお母さんが参加する講座をする工夫をされていましたので、我々の方もこれからどんな形でできるか参考にさせてもらいながら、展開を考えていきたくと思っています。

(塚田館長) 今日皆さん貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。先程藤沢委員が言われた通り、リモートの部分について、これから公民館の中でもどんどん取り入れていかななくてはいけない部分ではあるのではないかと考えております。ただそれはそれとして当然なんですけど、今度受講者の方たちがそれを採用できるかというのがあって、それが地域性かもしれないですが、その辺を踏まえながら検討していきたくと思っています。今日はどうもありがとうございました。

(村山議長) ありがとうございます。あとよろしいでしょうか。大変たくさんのご意見ありがとうございました。広報の仕方、ホームページの載せ方、改善等、またリモートなど新しいやり方を見つけながら、探っていきながらも新年度の事業になるかとは思いますが、事務局の公民館の方も色々考えて、試行錯誤してやっつけらっしゃると思いますが、今日の意見も踏まえまして繋げていただきたいと思います。では、続いて(2)豊栄地区公民館運営審議委員の選任について事務局より説明をお願いします。

(事務局) (2) 豊栄地区公民館運営審議委員の選任について説明

(村山議長) ただ今の説明に関して何かご質問等がありますか。では、事務局のお願いに準じていただきたいと思います。続いて議題(3)新豊栄地区公民館について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) (3) 新豊栄地区公民館についてを説明し、施設を見学

(村山議長) 施設案内ありがとうございました。大変キレイになった公民館。色々な工夫をされていて素敵だなと思いました。施設を回ってみて、皆さんの方で質問等はございますでしょうか。

(北村委員) 全然質問ではなくて、本当に小さい時から時々公民館を利用させていただいて、先程絵とかを寄贈されたのを見て、懐かしく思いました。本当にお世話になってきて、今また今日新しい公民館にも接することが出来て、皆さんの思いとか、自分が小さい時のことを思い出して、本当にステップアップして、新公民館には、学生さんたちも多く勉強をしに来ていましたし、色々な方が本当に利用されていて、とても晴れやかな気持ちで今日出席させていただきました。長いようで短い6年間でしたけどとても嬉しく思います。ありがとうございました。

(村山議長) 他にございませんか。ないようですので、以上で本日の議題として予定されていたものは全て審議が終了いたしました。進行役を事務局にお返ししたいと思います。